

会 議 録

1 会議名

平成28年度第5回北諏訪区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

【協議事項】

- ・自主的審議事項について（公開）
- ・地域協議会又は地域活動支援事業に係る意見・課題

及び改善策等について（公開）

【その他】

視察研修について（公開）

3 開催日時

平成28年10月14日（金）午後6時30分から午後7時37分

4 開催場所

上越市立北諏訪地区公民館

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員： 白木朝雄（会長）、水上千恵子（副会長）、金子栄一、澤海雄一、高橋登志満、松矢茂、宮川敏子、室岡由美子（欠席4名）

・事務局： 北部まちづくりセンター：関川センター長、荒木係長、星野主事

8 発言の内容

【関川センター長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【白木会長】

- ・挨拶

- ・会議録の確認：水上副会長、宮川委員に依頼

議題【協議事項】自主的審議事項について、事務局へ説明を求める。

【荒木係長】

第3回目の会議で、地域の課題について委員同士で意見交換し、「自主的審議事項」に挙げる内容について協議していただいた。

意見交換の中では、松矢委員から「消防団への勧誘がうまくいかない」という課題が出された後、関連して、各委員から「実際に消防団が機能するのか」、「消防団員の大半は仕事のため、平日の昼間は、地域の防災力が手薄になるが、自主防災組織が実際に機能するのか」などの意見が出された。

このことから、「消防団と自主防災組織のあり方と連携について」を自主的審議事項にしてはどうかという意見が出たため、本日は、松矢委員から提案者として提案内容の説明を受けた後、自主的審議事項とするかどうか、地域協議会で協議していただきたい。

【白木会長】

事務局の説明に対し、質問等がないため、松矢委員から提案内容の説明をお願いします。

【松矢委員】

前回の協議会で、私が提案した内容を提案議題に挙げていただきありがたいと思っている。

提案理由としては、「消防団員の確保が難しい」というのが根本にある。

私の町内では、毎年、町内の役員が勧誘に回っているが、団員の勧誘には、本人はもちろんだが、親の理解が得られないという面もあった。昔とは違い、消防団員は、勤務上の三交替や、休日出勤など、消防団活動への参加が難しい。

また、「消防団は毎回酒を飲む」、「休みの日に活動があつて大変だ」というイメージがあり、なかなか家族の理解が得られない。

現在、私は消防団員ではないので、昔のイメージでしかないが、まずは、今の消防団員の仕事を把握する必要がある。私の町内では消防団不足だが、他町内では同じような問題があるのか、詰めていかないといけないと思っている。

私が知っている範囲で、消防団の1年間の活動をお話したいと思う。

- ・第一に、有事の際、活動に参加してもらう
- ・消防車等の定期点検（毎月）
- ・防火週間等に夜警や広報活動

- ・市長点検（年1回）
- ・操法の競技会（朝早くから競技会に備えた練習もある）
- ・出初め式
- ・予防週間等の際、家庭訪問や点検 など

以上のような消防団活動が行われている中で、各町内では、「自主防災組織」を立ち上げており、消防団員が平日昼間の参集ができないときに自主防災として出来ることがあるし、また、夜警も消防団ではなく、自主防災組織が担うことで消防団の負担を減らすことにも繋がるのではないかと考える。

また、平日昼間の有事の際、消防団員が勤務先からすぐに消防団活動に参加できるのか。企業側へは、消防団活動に御協力いただくよう依頼していると思うが、現実的に難しいと思う。

協議会としても、消防団や自主防災組織の課題について把握し検討することで、消防団員確保等の対策に少しでも知恵を出し合えればと思うので、自主的審議として提案したい。

【白木会長】

高橋委員と澤海委員は町内会長をされているが、自町内について、どのような現状なのか教えていただきたい。

【高橋委員】

団員の確保は難しい状況である。消防団員と接する機会があると、「団員がいないので、何とかしていただきたい」ということを言われている。

私もかつては消防団員であったが、現在、消防団員の定員というものはあるのか。北諏訪区には、3つの消防部があるが、自町内の上千原消防部をはじめ、各消防部に最低何人いればいいのか、ということも知らない。

また、自町内の自主防災組織には、「消防団員」も位置付けられているが、自町内の団員が活動するときは勝手に動くことはできず、消防部に話を通さなければならない、という現状にある。

【澤海委員】

私の町内は、横曽根消防部に属しているが、やはり、消防団員勧誘については苦勞していて、なかなか替わりの人が見つからない現状である。

【高橋委員】

団員不足の要因としては、人はいるが、了承してくれる人がいないということか。

【白木会長】

そうである。

【澤海委員】

消防団に入っているけど、出てこないという人もいるようだ。

【松矢委員】

私の町内は、1回も出てこない消防団員は“除名”にしている。

【澤海委員】

昔は、活動に出てこない人もいたけど、最近ではそういうことも減ってきているとのこと。要するになり手がいない。

【白木会長】

なり手がいないというのは、若い人が減ってきているということ。

【松矢委員】

東中島消防部は、団員が20名くらいいる。

【荒木係長】

2年前のデータだが、横曽根が20名、上千原が24名、東中島が20名である。

【高橋委員】

その人数で足りているのか。

【白木会長】

機能はしている。ただ、部長をやられた方が普通の分団員に戻ったりしている。団員のなり手がないために、抜けられないのが現状である。

【金子委員】

定年制がはっきりしていない。昔ははっきりしていたと思う。

【白木会長】

各部によって違うが、40歳で定年、ということになっている部もある。だが、なり手がいないので辞められない。

【高橋委員】

女性でもいいのではないかと。

【白木会長】

若い人は入ってくれないだろう。

【澤海委員】

現場に行っても、後片付けだけで、消防署員から邪魔にされるのではないか。

【金子委員】

以前と比べ出動範囲も狭くなった。

【白木会長】

30代くらいの若い男性がどれくらい地域にいて、入団しているのか。東中島の場合は、地元から離れて暮らしていても消防団に入って活動している方もいるが、一方で、強制的に入ってもらっても出来ない実情もある。

【澤海委員】

だが、八千浦区や高士区など、強制的に入ってもらった地域もある。活動も一所懸命である。

【白木会長】

大会等に出る時も一所懸命である。

【松矢委員】

北諏訪区では、今は青年団というのもないと思うが、昔は、青年団に入っていて、そのままの延長で消防団に入るといった流れがあった。

【澤海委員】

報酬問題もあった。

【白木会長】

上千原消防部の管轄区域は、上千原と若鷹町内会の2町内であるが、きちんと会計報告もされている。僅かかもしれないが、在籍した期間で退職金も出ている。

【関川センター長】

市から出たお金が、そのまま飲食代に使われているという訳ではなく、一旦分団毎に支払われ、分団内できちんと使い分けをしているものと思う。

【白木会長】

きちんと会計報告もされ、我々町内会もきちんと精査している。

【関川センター長】

先ほど言われていた、「何人いれば、適正なのか」だとか、「消防署で消防団を、どの程度頼りにしているのか」という辺りはどうなのか。

【白木会長】

3 消防部の団員ともコミュニケーションを取り、「最小限、活動に必要な人数は何人なのか」ということについて、意見交換をしながら確認して行きたいと考えている。

先ほど、松矢委員が言われたように、「団員が勧誘に行っても、親の理解が得られない」ということもあるので、その辺も今後、どのようにしていけばいいのか。

【澤海委員】

今後、ますます少子化が進み、人口が減少していけば、今の3消防部合併ということも有り得ることだと思う。

【白木会長】

澤海委員の発言のとおり、今後の消防団のあり方についても、話をしたほうが良いと思う。

他に意見等はあるか。

(意見なし)

では、松矢委員の提案を「自主的審議事項」として取り上げ、継続的に審議していくことに賛成の方は挙手していただきたい。

【澤海委員】

消防団の話は出ているが、自主防災組織の話が出ていない。

【白木会長】

自主防災組織は、各町内で組織を作り、年に数回訓練もしているが、町内での話になる。

【澤海委員】

町内だけの話だから、お年寄りばかりで組織が機能しなくなってしまう。

【白木会長】

その辺も含めて、継続審議をしていただきたいと思うが、どうか。

(異議なし)

では、継続審議していくということで、この提案を「自主的審議事項」として取り上げることにする。

今後の進め方について、事務局へ説明を求める。

【荒木係長】

次回以降の協議会から、本格的な協議をお願いしたい。

今後の進め方については、白木会長が発言されたが、一つは、地域の方や団員の方た

ちと話し合いをして現状把握をしていく。もう一つは、市に関係する基本的な内容で、事前に把握すべき資料があれば、予め準備していきたい。

また、委員から、進め方の提案等があれば、事務局で対応していきたい。

【澤海委員】

以前、旧上越市内で消防団がない場所があったと聞いたことがあるが、今は、そういう地域があるのか、ないのか。その辺も確認していただきたい。

【荒木係長】

今は、全ての町内がいずれかの消防団の管轄に入ると思う。

【白木会長】

昔は、時期が来れば消防団に入るものだと思っていた。

【金子委員】

消火栓も普段は、団員でないと、勝手には開けられないようになっている。

【荒木係長】

消火栓の取扱いについては、前回の協議会で、消防団員が不在の時に自主防災組織で使うことは出来ないのか、という議論がされていたと思う。

【松矢委員】

自主防災組織で消火栓を使用した訓練をやっているが、実際に水を出すというのは危ないし、水を出した後、家庭の水道水が濁ってしまう等の問題が出てくるから、勝手にはできない。我々が心配しているのは、有事の際、ホースを持ったことがない人が水圧で振り回されて、怪我をしないか不安である。消火栓やホースの設置場所は伝えてあるが、実際に使用する時は、経験者がおらず、素人だけでやる場合は危険なので止めてください、と話している。

【荒木係長】

危機管理課へ確認したところ、やはり、基本的に一般の方は消火栓を使わないよう伝えてあるとのことである。一般の方は、怪我をしてしまう危険性があるので、基本的には、消防団員の方が使う。ただ、消防団員がいない時は、OBの方たちに対応していただくことになるので、動けるような体制を取らなくてはならないと思う。

【金子委員】

私の町内では、そのような話もしていない。事前に、消防団員とその辺の打ち合わせをしたほうがいいのか。

【高橋委員】

言われるとおりであります。打合せをしておけば、有事の際、出来ることもあると思う。

【澤海委員】

以前、町内会長会議で、「消火栓にはできるだけ触らないでほしい」という話をしていたと思う。

【高橋委員】

「できるだけ」というのが、どれくらいの範囲なのか分からない部分がある。

【白木会長】

今後の進め方とすれば、先ほどから出ている意見を含めて、準備していきたい。

【荒木係長】

協議会内で出た問題点が実際に消防団の中でも問題になっているのか現状を把握することや、市担当課からの情報収集について準備していきたい。

【関川センター長】

消防部の部長さんに来てもらい、話を聞く機会も必要だと思っている。

【白木会長】

では、そのように進めていきたい。

以上で、「自主的審議事項」については終了とする。

次に、次年度に向けた「地域協議会の運営及び地域活動支援事業に係る意見・課題及び改善策等について」事務局に説明をお願いします。

【荒木係長】

- ・地域協議会又は地域活動支援事業に係る意見・課題及び改善策等について説明

【白木会長】

説明に対し、意見等はあるか。

(意見なし)

では、「意見なし」ということで市へ報告する。

次に「その他」について、事務局へ説明をお願いします。

【荒木係長】

委員研修について説明させていただく。

- ・資料No.2に基づき説明

【白木会長】

まず、研修を実施するか、しないかを決めたいと思う。

【水上副会長】

やはり、研修会はあったほうがいいと思う。今回、新しい委員の方もいるので、今年はやるべきだと思う。

確認だが、資料に載っている（案）は、他区にも同じ（案）を出しているのか。

【荒木係長】

他の区では出していない。北諏訪区での研修先の候補である。

【水上副会長】

過去の委員研修は、単独ではなく、他区と合同で開催している。今回も同じような形が取れるなら、お願いしたいし、「③防災アドバイザーによる講習、研修会」だったら、地域協議会だけではなく、大勢の方が聞いたほうが、自主防災において、プラスになると思う。

各地域協議会でやるのもいいが、合同でやることも良いと思う。

【白木会長】

研修テーマ（案）の「①『牧振興会』、『牧商工会』活動の視察」の“すこやかサロン”と「②『諏訪の里づくり協議会』活動の視察」の“支え合いサロン”は、「30年問題」になっている。「要支援1、2」の方々は、デイサービスが利用出来ないということになる。北諏訪区の実状を見ていると、数人しかサロンに参加していない。社会福祉協議会の皆さんが率先してやっているが、たぶん、現実味を帯びていないのだと思うし、地域の皆さんの意識が低いのだと思う。声を挙げ、認識していただくために、地域協議会の活動を通じて、活動が推進できればと思う。

【宮川委員】

地域の支え合いサロンは、火曜日と木曜日に開催している。私も何回か参加させていただいているが、会長が言われるとおりに、参加者は3、4人。理由としては「交通手段がない」、「年寄りだから」という声を聞いた。その改善策を自分でも考えているのだが、なかなか思い浮かばない。

【白木会長】

開催場所を変えて実施することも模索しているようだ。

【澤海委員】

私は、今年初めて委員になり、いろいろなことを勉強したいので実施していただきました

いと思っている。

事務局から提案があった『諏訪の里づくり協議会』活動の視察」だが、元々、北諏訪区と諏訪区は、一つの村だったので、村の成り立ちや、協議会立ち上げの苦労談等を聞きたいが、そういったことも含めて交流できたらと、前から思っていた。

【白木会長】

水上副会長がおっしゃったように、北諏訪区では昨年度、保倉区と有田区で合同研修会を行ったが、保倉区や有田区の実状を聞くことができた。

保倉区では、かみよしの池に白鳥が飛来してくるために、地域活動支援事業の補助金を使って、整備している。

【関川センター長】

水を溜めておくと、畔が削られてしまうので、それを補修するため、地域活動支援事業費補助金を活用されている、という一面もあるようだ。

— 研修内容をどうするか、委員同士で話し合い —

【白木会長】

では、研修内容は「『諏訪の里づくり協議会』活動の視察」を行うこととし、日程は、11月9日から11日の間で相手団体の方と調整の上、皆さんへ報告する。

【澤海委員】

視察だけではなく、説明もお願いしたい。

【白木会長】

事務局に調整をお願いしたい。

皆さんに報告だが、先日、「TMTクラブきたすわ」がスポーツ庁の『平成28年度生涯スポーツ優良団体』に選ばれ、上越市から2団体、文部科学大臣から直々に表彰を受けた。

もしかしたら、地域活動支援事業の活動内容について、地域活動フォーラムで発表する場があるかもしれないので、ご承知おきいただきたい。

他に事務局から何かあるか。

【荒木係長】

次回の協議会だが、現在、諮問等の案件はないため、自主的審議について協議してい

く。開催予定は、研修会を挟むので、12月頃を予定している。日程については、会長と相談の上、皆さんへ御案内させていただく。

- ・12月開催予定の「地域活動フォーラム」について連絡
- ・11月8日開催の「上越地域振興フォーラム」(農政課)について案内
- ・11月14日開催の「市民と市長とのキャッチボールトーク」について案内

【白木会長】

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 北部まちづくりセンター

TEL : 025-531-1337

E-mail : hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。